

素材生産事業者等との連携によるナラ枯れ被害の拡大防止について  
 ～～おとり丸太トラップ法の民間による取組～～

令和6年3月

1 現状等

ナラ枯れ被害対策は、枯損木の伐倒、立木くん蒸及びおとり丸太によるものが大半を占めるが、それらは全て行政機関によって行われている。

その中で、令和4年度に三陸北部森林管理署が主体となって実施したおとり丸太法による実証事業に、関係機関として参加したところ、民間素材生産業者による取組みも可能ではないかと考えられたことから、今回、その実証等を行ったもの。

2 準備等

宮古管内及び岩泉管内の林業関係担当者会議において、林業事業体に対して、取組み内容等を説明。

結果、2事業体の実証協力。

3 実施状況写真

試験地①	試験地②
岩泉町御殿崎	宮古市重茂
	

4 結果【速報値】

場所	試験地①御殿崎	試験地①御殿崎	試験地②重茂	試験地②重茂※1	平均
防風ネット	○	×	○	×	—
ガシカ <sup>®</sup> コール	○	○	○	×	—
エタノール	○	○	○	○	—
層積 <sup>m<sup>3</sup></sup>	18.6	15.3	6.0	1.0	<u>10.2</u>
実体積 <sup>m<sup>3</sup></sup>	14.9	12.2	4.8	0.8	<u>8.2</u>
推定穿入虫数	85,233	113,551	79,346	10,527	<u>72,164</u>
同/ <sup>m<sup>3</sup></sup>	5,727	9,303	16,399	13,427	<u>8,800</u>
保全したナラの数/ <sup>m<sup>3</sup></sup>	※750 頭/本換算				<u>11.7 本/<sup>m<sup>3</sup></sup></u>
重量減少率	0.970	0.958	0.919	0.983	<u>0.952</u>

※1 誘引剤をエタノールのみとした場合は、農薬取締法の違反となります（試験を行う場合を除く）。

※2 「750 頭/本」は、他の研究者等による成果の平均値